
赤潮情報(フクロセントラム シグモイデス)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成25年7月14日

鹿児島湾 赤潮情報 No.5

[1] 7月13日の調査結果

本日、垂水市漁協管内を調査したところ、垂水市漁協前に着色が見られ、渦鞭毛藻類のプロロセントラム シグモイデスを表層で513cells/ml確認しました。ほか、荷揚場前や桜島口付近などの沿岸部では本種を最高227cells/ml確認しましたが、沖合の養殖漁場付近では最高でも53cells/mlと、沿岸部より少ない状況でした。

また、珪藻類は全体的に非常に多い状況でした。

[2] 今後の赤潮発生の予想

プロロセントラム シグモイデスによる赤潮は、本県では鹿児島湾で過去に発生していますが、これまで漁業被害は報告されていません。本種による赤潮が形成された場合、夜間に行われる呼吸により酸素濃度が著しく低下し、貧酸素による被害が発生する可能性があるため注意が必要です。

競合種の珪藻類が全体的に多い状況ですので、本種が急激に増殖する可能性は低いですが、潮汐や風向によっては、プロロセントラム シグモイデスが蟻集して細胞密度が高くなる可能性もあるので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に漁場周辺の採水・検鏡を行って、本種の細胞密度を把握し、溶存酸素など漁場環境の把握に努めるとともに、状況により餌止めを実施する等、十分な注意が必要です。

